三重県桑名市における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～令和６年度	令和７年度	計	令和７年度末時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	71,642,000	12,363,000	84,005,000	70%	森林経営管理制度に基づく森林整備の実施
譲与額（円）	95,556,000	22,902,000	118,458,000		

■令和７年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）	うち森林環境譲与税	事業内容
普及啓発	木材・普及啓発関係	11,841,944	6,500,000	市内の放置竹林を整備してタケノコの生産量を増やし、同時に伐採した竹そのものを資源に変えるべく新たな循環システムを構築する。
実施体制	専門員の雇用	913,000	913,000	森林・林業分野に精通した地域林政アドバイザーと委託契約を締結し、森林整備の円滑な実施を図る。
森林整備	森林整備の準備作業	4,950,000	4,950,000	未整備森林の整備に向けた森林の現況調査や、境界案に関する調査を民間事業者に委託した。
基金積立		10,539,000	10,539,000	桑名市森林環境譲与税基金
合計		28,243,944	22,902,000	

■今後の実施計画

①竹資源循環創出推進事業

ＳＤＧｓの推進に寄与すべく、産官学等で構成されている協議会にて、新たな循環システムの構築を目指して、市内の放置竹林整備の際に発生した、伐採した竹そのものを資源に変える事業を展開。

②森林経営管理制度に基づく森林整備の実施

市内の民有林約372haを11の区域に区切り、各区域において、順次、森林所有者意向調査、森林境界明確化、経営管理計画の策定、森林整備を実施し、森林の適切な維持管理を行う。